

論文考査の問題

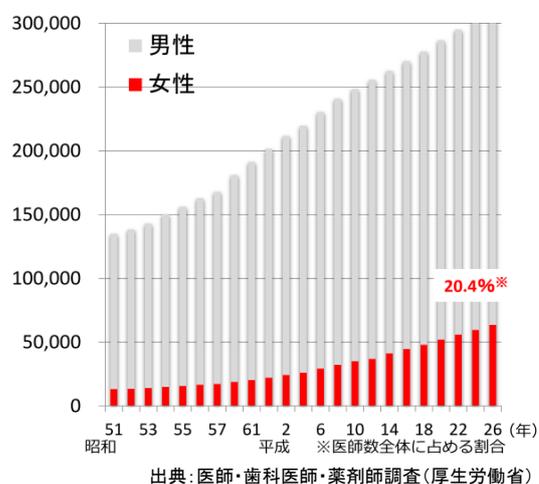
「働き方改革」に向けた取り組みが進む中、働く医師の健康やワーク・ライフ・バランスにも注目が集まっており、日本の医療制度を持続可能なものにしていくためにも、医師の働き方改革は重要な課題となっている。

医師は、昼夜問わず、患者の対応を求められる仕事であり、他職種と比較しても抜きん出た長時間労働の実態がある。さらに、日進月歩の医療技術、より質の高い医療に対するニーズの高まり、患者へのきめ細かな対応が求められる傾向等により、こうした長時間労働に拍車がかかっていると考えられる。

一方、医師は、医師である前に、一人の人間であり、長時間労働による健康への影響が懸念される。実際に、医師が過労死したり、健康を害したりするケースが起きている。加えて、いまだ多様で柔軟な働き方の実現が不十分だと考えられる中で、女性医師の割合が上昇していることなどを踏まえれば、医師についても多様で柔軟な働き方を実現していかなければ、性別を問わず、医師として働き続けられる人材の確保が困難となる。

以上のことを踏まえ、医師の働き方改革を推進するために、大阪府としてどのような取組みが必要か、資料1から6を参考とし、課題を挙げた上で、課題解決に向けた具体的な取組みを提案しなさい。また、提案した取組みを進める上で、府、医療機関、関係機関等が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。

資料1 女性医師数の年次推移



資料2 病院常勤勤務医の診療科別の週当たり勤務時間

週当たり勤務時間	病院常勤勤務医
内科系	56時間16分
外科系	59時間28分
産婦人科	59時間22分
小児科	56時間49分
救急科	63時間54分
麻酔科	53時間21分
精神科	50時間45分
放射線科	52時間36分
臨床研修医	60時間55分
全診療科平均	56時間28分

出典：第1回医師の働き方改革に関する検討会資料

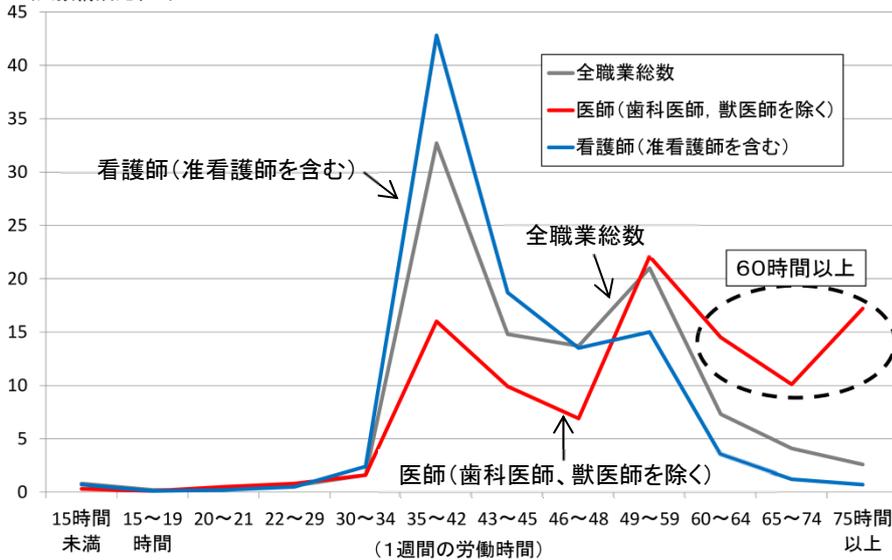
資料3 病院常勤勤務医の年代及び男女別の週当たりの勤務時間

週当たり勤務時間	男性医師	女性医師
20代	64時間59分	59時間12分
30代	63時間51分	52時間13分
40代	61時間06分	49時間20分
50代	55時間28分	50時間05分
60代以上	45時間17分	42時間49分
全年代平均	57時間59分	51時間32分

出典：第1回医師の働き方改革に関する検討会資料

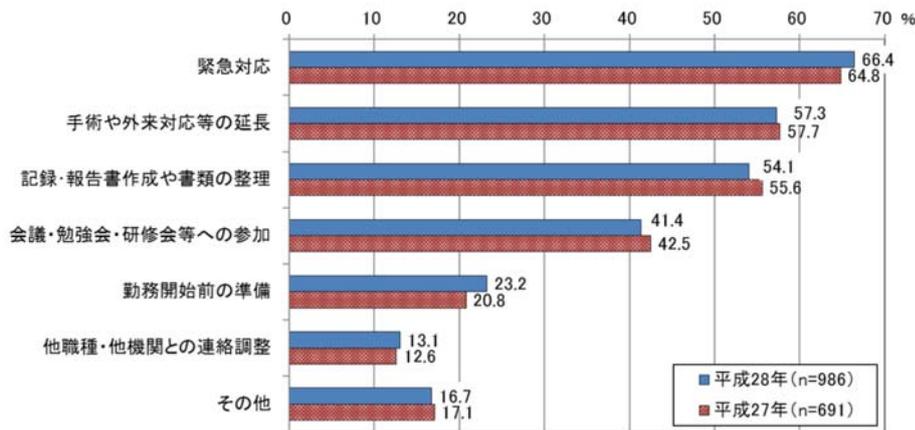
資料4 医師等の1週間の労働時間の分布

(人数構成比、%)



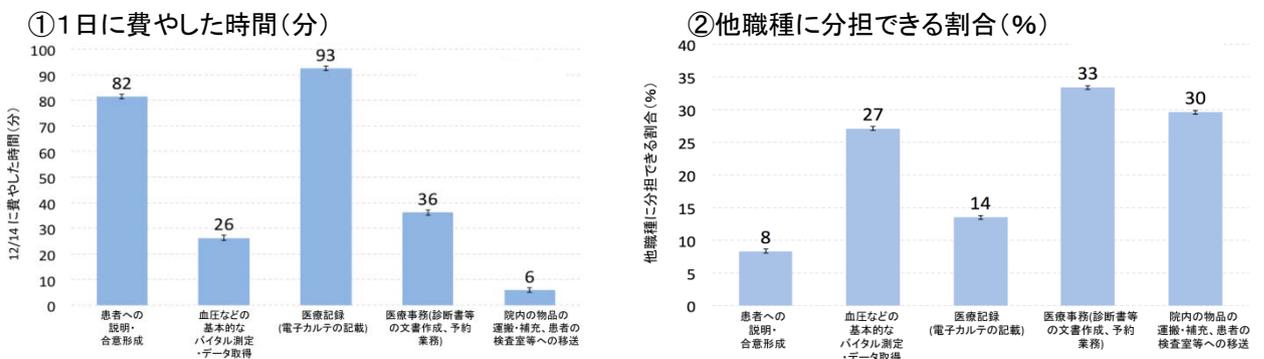
出典:総務省・平成24年就業構造基本調査(年間就業日数200日以上、正規職員)

資料5 医師の時間外労働の主な理由



出典:医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組みに対する支援の充実を図るための調査・研究事業報告書(平成27年、28年とも6月の1か月間を対象)

資料6 他職種(看護師や事務職員等のコメディカル職種)との分担



出典:医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査(平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班)
 調査対象者:50代以下常勤医師
 調査対象日:平成28年12月14日